

米子工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	プレゼン英語
科目基礎情報					
科目番号	0020	科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	建築学科	対象学年	4		
開設期	通年	週時間数	1		
教科書/教材	Winning Presentations 他プリント				
担当教員	中島 美智子, 森田 典幸, 酒井 康宏, 青砥 正彦, 鈴木 章子, マックフェル ショーン				
到達目標					
英語でプレゼンすることにより、人前で自信を持ってスピーチやプレゼン出来るようになることを目標とし、質疑に対しても瞬時に答えられることを目標とするため、下記の到達目標を定める。					
1. 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を十分整理し、まとまりのある文章を的確に書くことができるようになる。					
2. 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を十分整理し、まとまりのある文章を的確に話すことができるようになる。					
3. 関心のあるトピックや自分の専門分野について、英語での口頭発表や内容に関する質問に対して、的確に回答することができるようになる。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を十分整理し、まとまりのある文章を的確に書くことができる。	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、まとまりのある文章を書くことができる。	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理したり、まとまりのある文章を書くことができない。		
評価項目2	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を十分整理し、まとまりのある文章を的確に話すことができる。	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、まとまりのある文章を話すことができるようになる。	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理したり、まとまりのある文章を話すことができない。		
評価項目3	関心のあるトピックや自分の専門分野について、英語での口頭発表や内容に関する質問に対して、的確に回答することができる。	関心のあるトピックや自分の専門分野について、英語での口頭発表や内容に関する質問に対して、応答することができる。	関心のあるトピックや自分の専門分野について、英語での口頭発表や内容に関する質問に対して応答することができない。		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 E-1					
教育方法等					
概要	授業は週1回の50分なので、途中で作業が切れることは当たり前である。次回の授業は、必ず、前回行った作業内容を十分把握し、てきぱきとこなせるようにしたい。前期は3人でチームを組んで、適当なテーマを決定してプレゼンする。後期は適当なテーマを、出来れば1人で決定してプレゼンする。試験はペーパー試験は行わず、プレゼンを実際にしてもらい、評価する。				
授業の進め方・方法	授業は週1回の50分なので、途中で作業が切れることは当たり前の話であり、次回の授業時において前回行った作業がどこまでであるかきちんと把握できていないといけません。そのため、必ず、毎回自分の作業の進行状況が分かるようにメモを取るなど工夫をしてください。テーマを決めたら、そのテーマに肉付けをしていく作業が必要になります。SNSの使用はある程度認めますので、しっかり情報を検索してください。				
注意点	欠席オーバーにならないよう注意してください。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション	1年間のガイダンス	
		2週	声の通し方(1)	発声について理解できる	
		3週	声の通し方(2)	発音について理解できる	
		4週	英語の早口言葉 (1)	早口言葉でお口の体操をする	
		5週	英語の早口言葉 (2)	早口言葉が理解できる	
		6週	テーマの決定 (1)	テーマの探し方が理解できる	
		7週	テーマの決定 (2)	テーマの発表手順が理解できる	
		8週	構成の組み立て (1)	序章の組み立てが機械できる	
	2ndQ	9週	構成の組み立て (2)	結論の組み立てが理解できる	
		10週	プレゼン作業 (1)	プレゼンについて概略が理解できる	
		11週	プレゼン作業 (2)	プレゼンについて序論が組み立てられる	
		12週	プレゼン作業 (3)	プレゼンについて本論が組み立てられる	
		13週	プレゼン作業 (4)	プレゼンについて本論が組み立てられる	
		14週	プレゼン作業 (5)	プレゼンについて結論が組み立てられる	
		15週	前期末試験	前期のすべての活動が理解できる	
		16週	復習	前期で学んだすべての活動を理解する	
後期	3rdQ	1週	プレゼンの姿勢	良い姿勢について理解できる	
		2週	アイ・コンタクト	アイコンタクトについて理解できる	
		3週	ジェスチャー	ジェスチャーについて理解できる	
		4週	位置	立ち位置について理解できる	
		5週	投影	プロジェクターについて理解できる	
		6週	イントネーション	イントネーションについて理解できる	

4thQ	7週	フレージング	フレージングについて理解できる
	8週	質問対応への答え方(1)	質問応答ができる
	9週	質問対応への答え方(2)	質問応答ができる
	10週	プレゼン作業(1)	プレゼンについて概略が理解できる
	11週	プレゼン作業(2)	プレゼンについて序論が組み立てられる
	12週	プレゼン作業(3)	プレゼンについて本論が組み立てられる
	13週	プレゼン作業(4)	プレゼンについて本論が組み立てられる
	14週	プレゼン作業(5)	プレゼンについて結論が組み立てられる
	15週	学年末試験	後期のすべての事項が理解できる
	16週	復習	1年間で学んだすべての活動を理解する

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	前1,前2
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	前6
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	前2,前7
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	前3,前8
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	前4,前9
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	前5,前10
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	前11
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握に必要な情報を読み取ることができる。	3	前12
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	前13,後14
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	前14,後13
			英語運用能力向上のための学習	実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	前15,後12
				自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	後1,後7
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	後2,後8
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	後3,後9
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	後4,後10
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	後5,後10,後15
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	後6,後11

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	90	0	0	0	10	100
基礎的能力	0	90	0	0	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0